月刊東乳商
第604号
第605号
合併号
発行所
東京都牛乳商業組合
代表者　渡邉佳三郎
東京都千代田区岩本町２-11-３
第八東誠ビル７階　〒101-0032
電　話　03－5809－1776
ＦＡＸ　03－5809－1786
東京都牛乳商業組合　平成29年６月20日
●URL http://www.tokyo-gyunyuya.com　E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp
毎月20日発行・定価1部150円　1年1800円（郵便料共）（昭和47年2月22日第3種郵便物認可）

タブレット地図ソフト
市乳くんNAVI
ホームページで動画公開中！是非、ご覧下さい。
お問い合わせ・資料請求は　0120-5959-92
株式会社オシカワシステム　http://www.oskw.jp

東乳商第57回通常総代会開催

東京都牛乳商業組合は５月27日、千代田区麹町の弘済会館で第57回通常総代会を開催、ご来賓、総代、及び理事・支部長合わせて48名が出席した。

定足数確認報告に続き司会の中村副理事長が開会を宣言、渡邉理事長の挨拶のあと、議長に紺野亘洋氏（北多摩支部・雪印メグミルク）を選出し議案審議に入った。

28年度事業報告、決算関係書類、29年度事業計画、収支予算案、定款一部変更、役員改選などの上程議案は全て承認可決された。

総代会終了後、会費制の懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で組合員相互の交流が図られた。

渡邉理事長挨拶

総代会で渡邉佳三郎理事長は冒頭次のように挨拶した。

「東乳商は１９６３年に第１回総代会を開催したが、私が理事長に就任してから12回目の総代会となった。長い歴史の中でここ10年間は不当廉売対策として、量販店の牛乳安売りを監視するため、約５万枚のチラシを集め、悪質と思われる事例を公正取引委員会に申告してきた。このたび農水省が牛乳・乳製品の適正取引の実現のための実態調査を開始、年内をめどにガイドラインを取りまとめることとなった。これによる売価の安定を望みたい。

さて東乳商に参加している販売店は本年３月末で４６７店、対前年で20店減少、私が理事長に就任した12年前の８５０店から半分近く減少し厳しい状況となっている。ここに至った大きな要因としてはお客様の高齢化、販売店主の高齢化があげられる。昨年度、東京都中央会の支援のもと「組合員アンケート」を実施、回答者の53％が後継者不在と答えており、そのうちの７割近く（67％）が廃業予定と回答している、という深刻な実態が明確に提示された。この様な状況を何とか打開するため、今年度も東京都中央会の支援を頂きながら、販売店の共同化、協業化を実現するためプロジェクトチームを作って、有効な施策を検討することとした。今後とも東乳商に対してご支援、ご協力をいただきたい。」と挨拶を結んだ。

議案審議

議長に北多摩支部の紺野亘洋氏（雪印メグミルク）を選出し審議に入った。

第１号議案　平成28年度事業報告書及び決算関係書類承認の件

第２号議案　平成29年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件

第３号議案　平成29年度借入金残高の最高限度決定の件

第４号議案　役員報酬決定の件

第５号議案　出資の総口数および払込済出資総額の変更ならびに出資金一部返還に関する件

第６号議案　定款一部変更の件

第７号議案　定款変更認可申請における字句の一部修正委任の件

第８号議案　役員改選の件

第１号から第８号の各議案のすべてが満場一致で原案どおり承認可決された。

ご来賓祝詞（要旨）

東京都中小企業団体中央会　木部　明課長

「景気はゆるやかな回復基調であるが、中小企業、小規模事業者にとっては厳しい状況が続いている。平成26年に施行された「小規模企業振興基本法」に基づく支援事業があるが、昨年度はそれを活用されて、東乳商はアンケート調査を実施された。さらに今年度も継続して課題抽出、今後の方向性を模索されるということで、中央会として引き続き支援を行っていく。」と挨拶された。

東京都牛乳普及協会　大久保　忠宜専務理事

「農水省が公表した２０１６年度生乳生産量は７３４万６千トンで、対前年比99・２％と前年度の増加を継続できなかった。一方で需要は堅調であるが、酪農家戸数は減り続け、牛の頭数も減少し生産基盤は弱体化している。あらゆる方面から増産への働きかけを継続することが重要。６月は「牛乳月間」、様々なイヴェントを通して酪農が魅力ある産業であることを伝え、新たに酪農家を志す人材が出てくれることを期待している。」と述べた。

雪印メグミルク株式会社　首都圏販売一課　知念　宏之課長

「４月の人事異動で現職となりました。よろしくお願いします。生乳生産量は前年を下回っているが、メーカーとしてはこの貴重な乳資源に更なる価値を付加した商品を開発し、販売店と共有し、発信していく。関係各位の意見を捉えつつモノづくりを行っていきたい。」と述べた。

第一回理事会新役員選出

西藪理事長（明治、墨田支部）新任、長倉氏（明治、墨田支部）が副理事長に新任、副理事長は４名体制に

57回総代会終了後同会場にて29、30年度役職理事選任のための理事会を開催した。議長に安藤一浩氏を選出し、議長から互選による選出との提案があり、出席理事から「西藪理事に理事長をお願いしたい」との提案があった。これが全員異議なく承認され、引き続き副理事長、常務理事の選出について、理事長一任となり、理事長案が示され、これも全員異議なく承認された。

各氏とも就任を承諾し、新役職理事が決定した。

引き続き懇親会が行われ、先ほどの理事会で選出された新役職理事紹介の後、宮川東京雪印メグミルク協会副会長の音頭で乾杯し、和やかな雰囲気の中での組合員相互の交流の場が持たれた。なお、新役職理事及び監事については、紙面の都合上次号でお知らせする。

＜平成29年度＞基本方針と事業活動

28年度の日本経済は前年度から引き続きゆるやかな回復基調が継続しており、企業収益は改善傾向にある。乳業界においては、ヨーグルトの需要が堅調に推移していることもあり、乳業各社は好業績を維持しているが、宅配業界においては顧客、販売店双方の高齢化が進んでおり、廃業、落本が増加しないような有効な手立てが見つからず、厳しい状況が続いている。

本組合においても組合員が直面する諸問題への対応を行っていくと同時に、販売店の生き残りの道を模索するための施策を検討、実施する等、将来に向けた取り組みを行う。さらに例年実施している諸事業は今年度も継続していく。

〔基本方針〕

東乳商は本年度も事業を実施していく上で、前年同様次の5点を「基本方針」として活動する。

1．支部会を通じて地域販売店同志の交流と緊密な連携を図る。

2．情報の収集と発信による組合員の情報の共有化を図る。

3．自治体の施策に協力し認可団体としての機能と役割を果たす。

4．研修会等を実施して販売店経営のスキル向上と組合員の活性化を図る。

5．牛乳関係各団体との連携を強化し、業界の発展に寄与するための活動を行う。

〔事業計画〕

1．牛乳販売店の経営安定の推進

販売店の安定的経営のために以下の活動を行う。

（1）事業共同化（仮称）の検討

販売店が廃業すると、周りの販売店のフォローが出来ないまま（同一マークの販売店が周りにない、顧客台帳の不備等の理由により）、宅配業界の共有財産であるはずの顧客も失ってしまうケースが見受けられ、このまま手を拱いていては宅配空白地帯が広がる恐れがある。これを防ぐために昨年度実施した組合員アンケートの結果も踏まえて、販売店の事業共同化の具体的施策をプロジェクトチームを作って検討、小規模なモデル共同化を試行する。（東京都中小企業団体中央会の支援を継続して受ける。）

（2）牛乳価格適正化協議会の開催

マーク連、都改協、都普協、東乳商の9団体で構成する牛乳価格適正化協議会を今年度も開催する。牛乳価格適正化のための協議の場として過去18回開催。事務局は東乳商が担当。この会議では、牛乳価格問題に限定せず、折々に発生する諸問題も協議する。

（3）異業種宅配参入の情報収集

東乳商は異業種からの宅配参入の動きに注視する。

2．「宅配牛乳ご愛飲謝恩キャンペーン」の継続実施

東京都牛乳普及協会との共同事業として5年間実施した「宅配牛乳ご愛飲謝恩キャンペーン」を今年度も継続して実施。より多くのお客様の応募をいただくよう関係団体への協力を例年通りお願いする。

3．指導教育及び調査研究

（1）牛乳販売店が生き残るため、牛乳関係各団体とのより一層の連携強化を図る。

（2）組合員の要望事項等を把握し、次年度以降の事業計画に反映させる。さらにそれら踏まえたより実践的な研修会を実施。日程等詳細は今後検討する。

4．情報又は資料の収集及び提供

（1）販売店にとって有益と思われる情報を支部長あてに提供し、確実に全組合員へ伝達するよう徹底する。

（2）組合新聞「月刊東乳商」を発行する。

（3）ホームページによる情報発信

牛乳販売関連団体の情報を一元化した「乳販連合会」のホームページと、東乳商ホームページの効果的連携を図り、情報発信力を強化する。

5．諸会議の開催

（1）理事会　年1～2回程度開催予定

（2）常務理事会　月1回定期的に開催予定

6．組合員の福利厚生に関する事業

予算を計上して、慶弔規程に基づき実施する。

7．ブロック会・支部会活動への補助

地域の組合員の緊密な連帯、交流によりブロック会・支部会活動が活発化するよう一定額を限度に経費を助成する。（事務局への事前申請が必要）また各支部長に対して補助制度の周知を行う。

8．休眠支部の再建及び未組織地域の組織化

9．組織活性化施策実施

10．東京都と締結した「高齢者を支える地域づくり」「ながら見守り」協定に基づき地域社会への貢献活動推進

昨年9月に東京都と二つの協定を締結。高齢者やその家族がいつまでも安心して暮らし続けられる地域社会の実現、また子供や弱者が犯罪や交通事故等の被害に遭うことなく、安全に安心して暮らせるよう見守り等を実施。東京都、各市区町村と連携して地域社会で積極的に活動する。

11．協賛会員を中心に宅配斡旋商品及び保険委託事業

（1）宅配商品の斡旋事業

宅配商品の斡旋事業は今年度も継続実施する。

現在の取引先は㈱オールインワン、㈱やまと蜂蜜、㈲新なすエッグ、㈱オフィスミント、㈱オーケーウィン、（合）シースリーネットの6社である。その他の協賛会員として福利厚生関連の㈱全国儀式サービスがある。各社の商品等について月刊東乳商等で適宜紹介する。

（2）保険委託事業

生命共済保険、火災共済保険、自動車共済保険、労災保険及びがん保険の委託業務を引き続き行い、組合員の生命と災害補償に寄与すると同時に、共済事務手数料収入として組合財政にも貢献する。その他、カーリースの㈱イチネン、日本カーソリューションズ㈱と代理所契約を取り交わしている。

12．食品衛生自主管理認証制度への取り組み支援

13．訪問販売規制強化への対応

14．顧客名簿作成促進（宅配事業継承対策）

15．食の安全、安心の促進

16．東乳商ＯＢ会の活動支援

平成29年度　収支予算書

自　平成29年4月　1日
至　平成30年3月31日

（単位：円）

	勘定科目	２８年度実績	２９年度予算
事業収入	賦課金収入	7,024,800	6,552,000
	新聞広告収入	190,000	250,000
	新聞発行負担金収入	655,785	647,200
	共済事務手数料	1,261,772	1,326,600
	協賛会費(斡旋手数料含む)	456,789	266,000
	事業収入合計	9,589,146	9,041,800
支出の部 事業費	指導教育事業費	262,315	250,000
	調査研究事業費	5,835	3,000
	福利厚生事業費	98,320	100,000
	新聞発行費	888,968	832,300
	編集費	360,000	360,000
	Web維持費	45,894	50,000
	宣伝広告費	49,600	49,600
	組織活動費	215,224	150,000
	理事支部長会議費	246,664	250,000
	総代会費	360,373	370,000
	ブロック支部会費	105,000	100,000
	会議費	323,000	300,000
	渉外費	83,920	90,000
	賦課金代理徴収手数料	345,480	321,840
	関係団体負担金	1,071,820	1,016,920
	キャンペーン事業費	555,866	350,000
	事業費計	5,018,279	4,593,660
支出の部 一般管理費	事務局給料	2,640,000	2,640,000
	法定福利費	422,480	425,534
	税理士報酬	129,600	129,600
	役員交通費	271,000	250,000
	旅費交通費	190,200	190,000
	通信発送費	174,982	150,000
	事務用品費	85,469	80,000
	リース料	272,160	272,160
	新聞図書費	99,308	100,000
	借室費	2,656,800	2,656,800
	水道光熱費	191,402	192,000
	祖税公課	70,600	72,000
	保険料	1,587	1,600
	雑費	46,899	49,446
	一般管理費計	7,252,487	7,209,140
	支出合計	12,270,766	11,802,800
事業外収入	雑収入	3,342	1,000
	業務受託収入	960,000	960,000
	家賃分担金	1,800,000	1,800,000
	事業外収入合計	2,763,342	2,761,000
当期損益		81,722	0

損益計算書

自　平成28年　4月　1日
至　平成29年　3月31日

（単位：円）

費用の部 勘定科目	金額	収益の部 勘定科目	金額
Ⅰ事業費及び一般管理費		Ⅰ事業収入	2,564,346
1. 事業費	5,018,279	新聞発行収入	655,785
指導教育事業費	262,315	新聞広告収入	190,000
調査研究事業費	5,835	共済事務手数料	1,261,772
福利厚生事業費	98,320	協賛会費	456,789
新聞発行費	888,968		
編集費	360,000		
Web維持費	45,894		
広告宣伝費	49,600		
組織活動費	215,224		
理事・支部長会議費	246,664		
総代会費	360,373	Ⅱ賦課金収入	7,024,800
ブロック・支部会費	105,000	賦課金	7,024,800
会議費	323,000		
渉外費	83,920		
関係団体負担金	1,071,820		
賦課金徴収料	345,480		
キャンペーン事業費	555,866		
2. 一般管理費	7,252,487		
事務局給料	2,640,000		
法定福利費	422,480		
税理士報酬	129,600		
役員交通費	271,000		
旅費交通費	190,200		
通信発送費	174,982		
事務用品費	85,469		
リース料	272,160		
新聞図書費	99,308		
借室費	2,656,800		
水道光熱費	191,402		
租税公課	70,600		
保険料	1,587		
雑費	46,899		
Ⅱ事業外費用	0	Ⅲ事業外収入	2,763,342
		雑収入	3,342
		業務受託収入	960,000
Ⅲ特別損失	0	家賃分担金	1,800,000
当期利益	81,722	Ⅳ特別利益	0
合計	12,352,488	合計	12,352,488

貸借対照表

平成29年3月31日

（単位:円）

資産の部 勘定科目	金額	負債の部 勘定科目	金額
Ⅰ流動資産	4,692,153	Ⅰ流動負債	4,554,600
現金	55,215	未払金	129,600
当座預金	7	預り金	4,425,000
普通預金	2,930,887		
定期預金	1,484,644		
前払金	221,400	負債合計	4,554,600
		純資産の部	
		Ⅰ組合員資本	2,192,553
Ⅱ固定資産	2,055,000	出資金	802,000
敷金	1,230,000	利益剰余金	1,390,553
関係団体出資金	825,000	法定利益準備金	403,000
		その他の利益剰余金	987,553
		特別積立金	307,000
		当期未処分剰余金	680,553
		当期純利益金額	81,722
		前期繰越損益	598,830
		純資産合計	2,192,553
資産合計	6,747,153	負債・純資産合計	6,747,153

剰余金処分案

自　平成28年　4月　1日
至　平成29年　3月31日

（単位:円）

Ⅰ当期未処分剰余金		
1. 当期純利益金額	81,722	
2. 前期繰越剰余金	598,831	
合計		680,553
Ⅱ剰余金処分額		
1. 特別積立金		500,000
Ⅲ次期繰越剰余金		180,553

改善協版

第40回通常総会開催

東京都牛乳流通改善協会は6月6日、千代田区神田淡路町のホテルジュラクで第40回通常総会を開催、ご来賓、賛助会員及び理事・監事合わせて24名が出席した。

定足数確認報告に続き司会の小沢事務局長が開会を宣言、渡邉会長の挨拶のあと、議長に渡邉会長を選出し議案審議に入った。

28年度事業報告、決算関係書類、29年度事業計画、収支予算案、役員改選などの上程議案は全て承認可決された。役員改選により4年間会長を務めた渡邉氏が退任、後を受けて宮島寿一氏が新会長に就任した。

総会終了後、会費制の懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で賛助会員、役員相互の交流が図られた。

なお、今年度の全改協事業については、6月2日に乳業会館において関東、甲信越各都県改善協会の会長、事務局に対して説明会が開催され、その内容を賛助会員（各メーカーご担当者様）にお伝えする予定（6月下旬）となっている。

渡邉会長挨拶

総会で渡邉佳三郎会長は冒頭次のように挨拶した。

「全改協総会が5月23日に行われ、前年度も実施した啓発事業（妊産婦、お年寄り、お子様）を今年度も継続することが決定した。前年度は8月～10月までの3か月実施し、東京は191件の拡売を達成（全国の14％）した。また小山浩子先生監修のミルクカレンダーも無償分を含め、前年同様実施する。これらの事業は公益目的資産を活用して実施しているが、今年度で資産を使い切ることとなり、来年度は大きな見直しが図られるので、積極的な参加をお願いする。詳細は今月末までに各メーカーの皆様に集まっていただいて、説明会を開催する予定。本日の第40回総会では役員改選も予定しているので各議案、慎重な審議をお願いする。」と結んだ。

議案審議

議長に渡邉会長を選出し審議に入った。

第1号議案
（1）平成28年度事業報告
（2）平成28年度決算報告
（3）平成28年度剰余金処分案承認の件
（4）平成28年度会計監査報告

第2号議案
（1）平成29度事業計画（案）承認の件
（2）平成29度収支予算（案）承認の件

第3号議案
役員改選の件

第1号から第3号の各議案のすべてが満場一致で原案どおり承認可決された。

ご来賓祝詞（要旨）

東京都牛乳普及協会　大久保 忠宜 専務理事

「消費者に牛乳・乳製品を安定供給するため、生産基盤の強化が叫ばれているが、生産者単独で出来ることは限られている。生産者、乳業、小売業の連携を深めることで、消費者との距離が縮まり、消費者の酪農への理解が深まり、酪農乳業界全体の発展につながると考える。」と述べた。

森永乳業（株）市乳販売課　高野 貴史 マネージャー

「顔の見える牛乳販売店チャネルが地域から期待されている、ということがネット上の消費者の声から見て取れるが、地域に根差し商売している販売店とメーカー間で消費拡大、流通改善、販売店経営基盤強化に向け、連携を密にして牛乳・乳製品の普及・拡大に取り組んで行きましょう。」と述べた。

雪印メグミルク（株）首都圏販売一課　知念 宏之 課長

「牛乳宅配店はお客様に牛乳を直接お届けできる貴重な販売チャネル。これから啓発活動を含め、メーカーとして何ができるか考え、販売店をサポートして行きたい。」と述べた。

渡邊氏会長退任

都改協の会長として4年にわたりご活躍してこられた渡邉佳三郎氏（森永）が会長を退任されました。総会終了後の懇親会で挨拶されました。都改協の財政立直しに大きく貢献された渡邊氏に、感謝の意を表したいと思います。

◇平成29年度改選理事

森　永……宮島寿一、大野真孝
雪印メグミルク……久保浩之、林省吾
メイトー……小林昭彦
コーシン……久古次郎
小岩井……新井政春
東乳商……西藪正男、長倉誠

◇平成29年度改選監事

森　永……河野俊介
雪印メグミルク……紺野亘洋

平成29年度　収支予算書

自　平成29年4月　1日
至　平成30年3月31日

（単位：円）

		勘定科目	28年度実績	29年度予算案
収入の部		賦課金収入	1,676,000	1,608,000
		賛助会費	840,000	840,000
		雑収入	3,527	3,500
		収入合計	2,519,527	2,451,500
		繰越金	3,012,544	3,204,932
		合計	5,532,071	5,656,432
支出の部	事業費	指導教育事業費	311,650	310,000
		渉外費	5,000	10,000
		諸会議費	251,208	300,000
		Web維持費	0	10,000
	一般管理費	事務所費	480,000	480,000
		業務委託費	960,000	960,000
		交通費	100,320	100,000
		通信費	54,780	30,000
		印刷費	2,444	3,000
		事務用品費	3,173	3,000
		交際費	0	10,000
		雑費	16,564	13,500
		支出合計	2,185,139	2,229,500
事業外費用		関係団体負担金	142,000	142,000
		合計	142,000	142,000
支出総合計			2,327,139	2,371,500
当期損益			192,388	80,000
来期繰越金			3,204,932	

損益計算書

自　平成28年　4月　1日
至　平成29年　3月31日

（単位：円）

支出の部 勘定科目	金額	収入の部 勘定科目	金額
Ⅰ事業費及び一般管理費		Ⅰ事業収入	2,519,527
1. 事業費	567,858	賦課金	1,676,000
指導教育事業費	311,650	賛助会費	840,000
渉外費	5,000	雑収入	3,527
諸会議費	251,208		
2. 一般管理費	1,617,281		
事務所費	480,000		
業務委託費	960,000		
交通費	100,320		
通信費	54,780		
印刷費	2,444		
事務用品費	3,173		
雑費	16,564		
Ⅱ事業外費用	142,000	Ⅱ事業外収入	0
関係団体負担金	142,000		
当期純利益	192,388		
合計	2,519,527	合計	2,519,527

都普協版

「東京産」を大切にしながら、日本料理を革新

野永三夫氏（料理人・日本橋ゆかり三代目店主）

さまざまな立場で酪農乳業に関わる方々に、ミルクとの出会いや思いを語っていただくコーナー。今回は、日本を代表する料理人として国内外で高く評価されている野永三夫氏に和食のプロの目線から見たミルクの可能性をお話いただきました。

アスリートを「江戸前」で、もてなしたい

料理屋の長男として生まれて、物心ついた頃から板前になろうと思っていました。料理学校を卒業後は京都「菊乃井」で修行して、実家に戻ってもう一度修行をし直しました。

私の料理人としてのテーマの一つは温故知新です。京都と東京という異なる食文化を学んで、それぞれのよさを融合した新しい料理をつくりあげたい。

もう一つ大切にしているのは、地元・東京産へのこだわりです。父からも「東京の地場物を見直せ」とよくいわれました。小松菜や金町小かぶ、亀戸大根、練馬大根などの江戸野菜をはじめ、米や卵、ミルク、さらには小麦まで東京産のものがあるのです。生産者のもとを訪れて素材を吟味し、自分の料理に取り入れてきました。そうした取り組みもあって、現在はＪＡ東京の「東京農業親善大使」も努めています。

昨年は東京都の依頼をうけて、東京マラソンのゴール地点で２０００人分の豚汁を提供しました。以前パリのマルシェでも振る舞ったのですが、熱々の豚汁にパルメザンチーズをかけた一品で、材料はオール東京産です。疲れていると甘いものがほしくなりますから、東京のお米を使ったライスプリン（江戸っ米ぷりん）も添えました。東京の街を走ったランナーたちに、東京の食材を使った和食で疲れを癒してもらう。これはオリンピックでもぜひ実現させたい「おもてなし」の姿です。

柔軟な発想で和食にミルクを取り入れる

和食とミルクの相性については、学校給食での扱いを含めて一部で否定的な意見もあるようです。学校給食の牛乳に関しては、ミルクが栄養満点の食品であり、体のために飲むべきものだということを、子どもたちにきちんと教える必要があるでしょう。

ミルクという食材と和食の相性については、僕は合わないとは全く思いませんね。うちの店のコース料理では、お通しは東京産モツァレラチーズを使った茶わん蒸しを出しています。米粉とミルクで練り上げたベシャメルソースをカニ味噌に混ぜた甲羅焼きもあります。他の料理でも生クリームやバターを隠し味で入れることはよくあります。合わないから使わないではなく、食材の特徴を理解して上手に取り入れていく柔軟性が必要。それこそが日本料理のセンスであり、料理人の腕の見せ所でもあるのです。

例えば、いま見直されている甘酒とミルクのコラボレーションで栄養満点に高機能な甘酒に。あるいはクエン酸の豊富な黒麹と組み合わせて、和のスポーツドリンクに。こういうアイディアはどんどん出てきます。それを終わらせず、料理人として磨き上げて形にして発信できるのが、僕たちプロの強みです。和食の分野から新しい可能性を提案できたらいいなと思っています。

（Ｊミルク資料より）

「牛乳の日」記念学術フォーラム開催される

現代人の栄養健康課題に関する乳の最新知見とその意義

一般社団法人Ｊミルクと、乳の学術連合との共済で６月３日（土）に虎ノ門ヒルズフォーラムメインホール（東京都港区）で、「牛乳の日」記念学術フォーラムが開催され、東乳商からは川井副理事長、事務局の２名が出席した。

今年度のテーマは、掲題の通りであるが、講演は岡山明氏（生活習慣病予防センター代表）、清原裕氏（公益社団法人久山生活習慣病研究所代表理事）、鈴木良紀氏（一般社団法人Ｊミルク広報グループ次長）の各氏がそれぞれの専門分野から講演し、最後にパネルディスカッションを行った。

全乳連の動向

●５月27日（土）中央酪農会議・六本木牧場
６月１日は牛乳の日！酪農の楽しさと牛乳のおいしさを、ギューッと！
ゲスト…吉田沙保里さん、全国のご当地牛乳販売（川和ミルクの移動販売車）

●５月28日（日）雪印メグミルク・こどもの国牧場「牛乳まつり」
・牛乳パックを使った楽しい工作　・雪印メグミルク商品の試飲配布
・雪印メグミルクこどもの国牧場特別牛乳「サングリーン」を使ったバター作り・乳搾り体験

●５月30日（火）Ｊミルク・第１回理事会

●６月１日（木）日本乳業協会・「おいしいミルクセミナー～乳和食でヘルスケア～」
・上西一弘先生＝「牛乳摂取で健康な人生を目指そう、女子栄養大学教授
・小山浩子先生＝「乳和食セミナー」＆デモンストレーション「ごちそうミルク肉じゃ、「夏に食べたい栄養満点の牛乳豆腐（ミルクもち）」

●６月３日（土）
・千葉県牛乳普及協会・ミルクフェア２０１７
小山浩子先生＝10分でつくれる、大人も子供も食べたいやさしい〝健康おやつ〟食べるカルシウムバー「ミネラルシリアルバー」
目の紫外線予防に!?「ベリーのミルク餅」
・Ｊミルク・牛乳の日記念学術フォーラム
本文参照

●６月16日（金）Ｊミルク・定時総会
平成28年度事業報告・決算について
役員の選任について

●６月17日（土）Ｊミルク・ミルクでつながる交流会
Ｊミルク・前田専務の呼びかけで開催
全国で「ミルクや酪農」に思いを寄せ、活動しているグループの人たちで集まって交流しようとする会、今回初めて開催する

東乳商組合員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大田支部
森永牛乳羽田ミルクセンター　店主　多田　弘二　様
ご尊父　昭次　様
平成29年５月29日永眠　享年89歳

東京ガスの電気　エネルギー・フロンティア　TOKYO GAS

電気料金、払いすぎていませんか?
電パッチョ　火ぐまのパッチョ
お気軽にお問い合わせ下さい！
東京ガス株式会社　エネルギー提案推進部
0120-222-579　電話受付時間　月－土9:00～19:00(祝日除く)